

所属 人間情報学部		職名 教授	氏名 天野 成昭	学位 博士（心理学）	兼任している研究科 心理医療科学研究科
研究分野 心理学			研究分野のキーワード 実験心理学、言語、音声		
学歴					
1983年03月	東京大学 文学部 心理学専修課程 卒業				
1985年03月	東京大学大学院 人文科学研究科 心理学専門課程 修了				
職歴					
1985年04月	日本電信電話株式会社 基礎研究所 研究員				
2010年04月	愛知淑徳大学 人間情報学部 人間情報学科 教授				
研究活動					
著書(CD・DVD等を含む)・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表年月	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	該当箇所・該当頁数
著書(CD・DVD等を含む)					
多変量解析のためのSPSS操作マニュアル	共著	2025年06月	ナカニシヤ出版	明石法子・岸田拓也・花塚優貴・天野成昭	201頁～217頁
学術論文					
Mapping Japanese alveolar fricative, alveolar affricate, and alveolo-palatal affricate in time-spectral space	共著	2021年05月	Acoustical Science and Technology 42 3	S. Amano, K. Yamakawa	134頁～139頁
Predicting and classifying Japanese singleton and geminate consonants using logarithmic duration	共著	2021年09月	The Journal of the Acoustical Society of America 150 3	S. Amano, M. Kondo, and K. Yamakawa	1830頁～1843頁
Thai speakers ' mispronunciation of Japanese singleton and geminate stops	共著	2021年11月	Journal of the Phonetic Society of Japan 25	K. Yamakawa and S. Amano	97頁～103頁
Acoustic features of pop-out voice in babble noise	共著	2022年01月	Acoustical Science and Technology 43 2	S. Amano, H. Kawahara, H. Banno, K. Maki, and K. Yamakawa	105頁～112頁
Japanese and Korean speakers' production of Japanese fricative /s/ and affricate /ts/	共著	2022年03月	Phonetics and Speech Science 14 1	K. Yamakawa, and S. Amano	13頁～19頁
Japanese and Korean speakers ' production of Japanese fricative /s/ and affricate /ts/	共著	2022年03月	Phonetics and Speech Science 14 1	K. Yamakawa, and S. Amano	13頁～19頁
Perceptual boundary and discrimination sensitivity of Japanese singleton and geminate stops in Japanese and Taiwanese Mandarin speakers	共著	2022年05月	Acoustical Science and Technology 43 2	K. Yamakawa, S. Amano, and M. Kondo	96頁～104頁
Audible sound under compressed snow simulating avalanche debris	共著	2022年05月	Acoustical Science and Technology 43 3	K. Maki, K. Sakakibara, K. Yamakawa, S. Amano	188頁～196頁
Classification of fricative /s/ and affricate /ts/ at various speaking rates, Acoustical Science and Technology	共著	2022年08月	Acoustical Science and Technology 43 3	S. Amano, K. Yamakawa, and M. Kondo	197頁～200頁
Vietnamese speakers' mispronunciation of Japanese singleton and geminate stops	共著	2022年09月	Acoustical Science and Technology 43 5	K. Yamakawa, S. Amano, and M. Kondo	241頁～250頁
Reconsidering the method of finding phonemic category boundary in speech production	共著	2022年11月	Acoustical Science and Technology 43 6	S. Amano, Y. Hirata, and K. Yamakawa	322頁～326頁
Japanese and Korean speakers' perceptual boundary and discrimination sensitivity of Japanese fricative /s/ and affricate / /	共著	2024年01月	日本音響学会 Acoustical Science and Technology 45 1	Kimiko Yamakawa, Shigeaki Amano	16頁～24頁

スキー場の拡声放送における聞き取りやすい単語の選定指針の提案	共著	2025年07月	日本災害情報学会 災害情報 23 1	山川仁子・天野成昭	81頁～89頁
Perceptual and acoustic characteristics of pop-out voice	共著	2026年04月	The Acoustical Society of America The Journal of the Acoustical Society of America 159 5	K. Tajima, S. Amano, M. Kitahara, K. Yoneyama, K. Maki, H. Kawahara, M. Kondo, and K. Yamakawa	4097頁～4113頁
学会発表					
作品・制作等					
その他業績					
学会等における主な活動					
受賞					
1997年05月	情報処理学会 Best Author賞 「頭の中に単語はいくつある？」				
2000年04月	NTTコミュニケーション科学基礎研究所 研究開発賞「日本語語彙データベースの構築」				
2000年12月	NTT先端技術総合研究所 報道特別賞「語彙数推定テスト」				
所属学会					
1982年10月～現在	日本音響学会		1998年04月～2000年03月 聴覚研究会幹事 2003年10月～現在 査読委員 2006年04月～現在 代議員 2016年04月～現在 東海支部代議員		
1984年07月～現在	日本心理学会		2017年04月～現在 地域別代議員(中部) 2019年04月～現在 理事		
1987年11月～現在	米国音響学会				
2019年04月～現在	日本音声学会		2019年04月～現在 査読委員		
社会活動					
教育活動					
教育実践上の主な業績			年 月 日	概 要	
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)					
2 作成した教科書、教材、参考書					
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等					
4 その他教育活動上特記すべき事項					
5 大学運営					
人間情報学部 心理情報専修 主任			2016年04月～現在		
V 資格・免許、特許等					
資格・免許					
特許等					

2002年07月19日	特許第3331286号 「語彙数推定方法ならびにそのための装置」	各単語に、該単語のなじみの程度をそれぞれ付与してあり、かつ、なじみの程度順に単語を並べ、記憶保持してある、単語辞書手段と、 前記の単語辞書手段から取り出す単語数、ならびに該取り出した単語群から、被験者に提示する単語数を設定する、抽出条件設定手段と、 抽出条件設定手段が設定した抽出条件に従って、前記の単語辞書手段から、なじみの程度が低い方から順に、一定数の単語群を取り出し、取り出した単語群から、なじみの程度順に一定の間隔で単語を順次抽出する単語抽出手段と、 単語抽出手段が抽出した単語を、視覚的または聴覚的方法により、被験者に順次呈示する、単語呈示手段と、 呈示された単語に対応して、「知っている」または「知らない」に代表される、2 値の回答を順次受け付ける、反応収集手段と、 反応収集手段が収集した回答のうち、「知っている」と回答された単語群の中で、なじみの程度が最も低かった単語を見つけ、前記単語辞書手段と参照し、該なじみの程度が最も低かった単語よりなじみの程度が高い単語を計数し、前記被験者の語彙数推定値として出力する、反応分析手段とを具備したことを特徴とする語彙数推定装置。
--------------------	---	---